

2021 年度 第 2 回 公務員総合学科 教育課程編成委員会 議事録

YIC 公務員専門学校 応接室

2022 年 3 月 22 日（火）14：00～15：00

出席者：外部委員

澤村 有利生 様（社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事 事務局長）

阿部 誉久 様（山口商工会議所 企画推進部長 経営指導員）

本校教職員

中川 達也（校長）

田中 秀樹（副校長）

飯田 直樹（事務長）

長井 浩志（教務課長補佐）

久永 美治（公務員総合学科学科長）

橋口 浩太（書記担当）

1、校長あいさつ

2、本校の取り組み状況の説明

（1）2021 年度の就職状況について

（長井）

2021 年度の公務員総合学科 2 年生の公務員一次試験合格状況は 100%で高い合格率となっている。

就職先は都道府県職員や市町村職員など昨年度より採用人数が増加している。

（2）2021 年度の検定試験結果について

（久永）

公務員総合学科 2 年生が受験する検定の中で計算実務能力検定から簿記能力検定試験 2 級に変更して実施した。Word 文書処理技能認定試験と Excel 表計算処理技能認定試験以外の授業はコロナ対策としてオンライン授業になったので授業方法の検討の必要性を感じた。

（長井）

オンライン授業では、過去問の問題演習のチェックが難しかった。また、学生が検定試験を受ける際の動機付けや意識付けの大切さを感じた。

(長井)

新しい検定として公務員試験の面接や履歴書で資格取得が評価される検定を追加するなどの見直しが必要であると考えている。**Powerpoint** 検定など実務で役に立つ検定がいいと考えている。

(澤村様)

これからの若者に求められる能力としてHPやSNSなどで活動内容や魅力を発信することができる資格があるといいと思う。

(中川)

現在、適当する検定試験はないので資格取得にはならないが授業で教えることで、機能が使えることを面接でアピールすることはできる。

(澤村様)

ZOOM や **Teams** などの使い方の授業を行い YIC 独自の「YIC スキル認定証」を作ってはどうか。2～3 年後にはこの認定証があると機能がある程度使えるアピールになる。

(中川)

公務員になった卒業生に実務上どんなスキルが必要なのか聞いて、その必要性を学生に伝えることで動機付けになる。

(阿部様)

NTT コミュニケーションズ検定事務局が実施している「**.com Master**」(インターネットを安心・安全に使うことができるインターネットを利用する上で必要な ICT の基礎知識を身につけることに活用できる)を実施してみてはどうか。

(田中)

今年度の結果を見ると公務員試験に合格している学生ほど、高い合格率となっている。実務上必要なスキルについては、YIC 同窓会の打ち合わせが月に 1 回行われており、公務員になった卒業生と接触する機会があるので、その際にどんなスキルが必要なのか確認する。また、「**.com Master**」についても内容次第では実施したいと考えている。

(3) 2021 年度の公務員総合学科 1 年生の年間行事について

(久永)

2021 年 10 月頃からコロナの影響で行事が中止になることが多かった。来年度は学生のためにもオンラインに切り替えてでも実施していきたいと考えている。

インターンシップ実習については全員が参加することができた。今年度より山口県インターンシップ推進協議会と正式に契約を行い、様々な官公庁でインターンシップ実習を行うことができ、地元の住民や高齢者から子供まで接することでコミュニケーション力を身につけることができたと感じている。

(澤村様)

今後もこの体制で進めてほしい。現場を見ることは重要である。

(中川)

高齢者施設や障がい者施設でのボランティア活動を取り入れていきたい。

(橋口)

現在、山口県社会福祉事業団の方とボランティア活動について相談している。

ボランティア活動としてはレノファ山口 FC の試合運営ボランティアをはじめとして地域の住民の方と一緒にゴミに拾いを行うなど地元に貢献する意識を身につけることができたと感じている。レノファ山口 FC の試合運営ボランティアでは参加数が昨年度より増加し、レノファ山口 FC 側からも感謝されることが多かった。

(4) 新教室 ZEST 小郡について

(長井)

教室が広く学習環境が良くなったことや他の学校との距離を保つことができコロナ対策も徹底することができた。また遠隔教育環境整備事業として電子黒板・授業動画保存機材・授業撮影用カメラ・学生貸し出し用端末及びモバイルルーターなどオンライン授業に対応できる機材を購入した。スマートフォンでは授業動画が小さく見えにくいという学生の改善につながると考えている。

(田中)

Z E S T 小郡には一般企業の方も利用されているので、学生が迷惑をかけてクレームが来ないか心配だったがこの1年間で1件もクレームは来なかったので良かった。

(5) 日本学生支援機構の奨学金について

(長井)

3年連続で高等教育の修学支援新制度の対象校になっている。家計は苦しいが、勉強したい学生が学ぶことができるので今後も継続していきたいと考えている。在学中の成績が悪い場合には給付金がもらえなくなる場合があるので、勉強を促すための効果が高くなっている。

(6) 学校案内パンフレット 2023 について

(田中)

山口市産業交流拠点施設で表紙の撮影を行った。また、学生の就職先・卒業生からのメッセージ・インターンシップ実習・ボランティア活動・官公庁視察研修・ガイダンス・学校行事など最新情報を掲載している。YIC 公務員専門学校独自の内容が盛り込まれたパンフレットになっている。

(阿部様)

表紙が官公庁との関わりのある施設である山口市産業交流拠点施設で撮影されているのが良かった。

3、本年度の本校教育課程に対するご意見等

(阿部様)

在学生や保護者の方にもインターンシップ実習・ボランティア活動・ガイダンス・官公庁視察研修などの活動について知ってもらえるように、学校案内パンフレットに掲載している Facebook や Instagram などの SNS の QR コードを学生便覧にも掲載してはどうか。

(阿部様)

山口市商工会議所主催のやまぐち検定は 2022 年の 9 月か 10 月で実施予定なので実施する場合は案内する。参考書は現在でも購入可能である。

(澤村様)

高齢者施設や障がい者施設のボランティア活動やインターンシップ実習など YIC のネットワークを駆使して実施すればいいと思う。

4、その他（今後の予定等）

以上